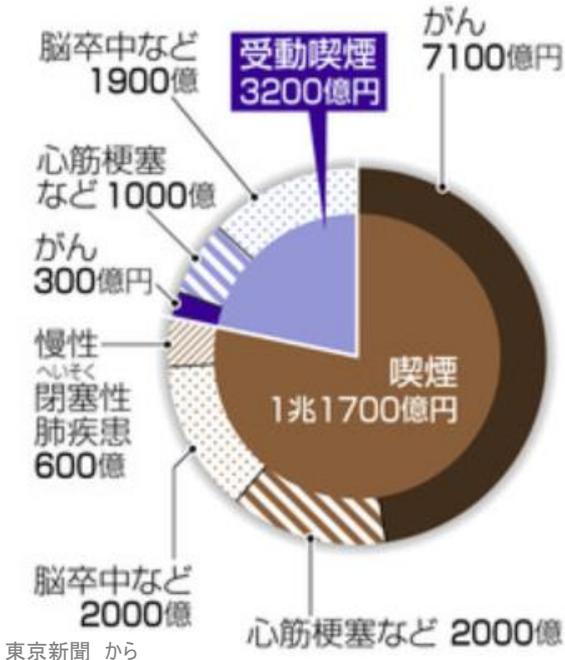


タバコの正体

たばこによる医療費の内訳 (2014年度)

計1兆4900億円



タバコは人々の健康を害する事は明らかで、喫煙を長期間続けていると何らかの病気になる確率が高くなります。そうして発病した人たちは病院で治療を受ける事になります。するとそれにかかる治療費が発生します。左のグラフはそんな費用の全国総額を表しています。タバコが原因の病気はたくさんありますが、例えばガンの治療に7100億円がかかっているほか、心筋梗塞や脳卒中などの喫煙者の医療費総額は1兆1700億円になります。さらに自分ではタバコを吸わないのに受動喫煙で病気になった人の治療費を合わせるとタバコが原因の医療費は1兆4900億円にのびます。

そして、タバコが原因の火災損失額や介護費用などをあわせると左下のグラフにあるように損失総額は2兆500億円にもなるのです。

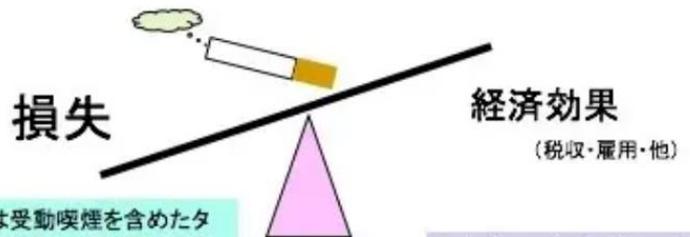
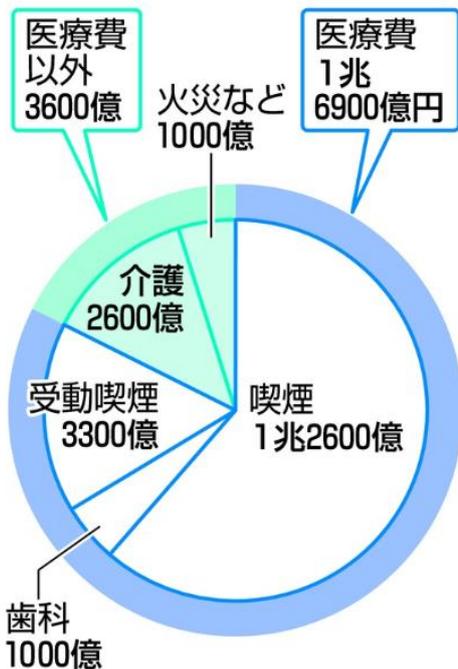
さて、ここで前回紹介したタバコ税の事を思い出して下さい。国全体でタバコの税収は約2兆円でしたね。という事はタバコによる収入より支出が大きいわけです。つまりタバコ税による経済効果と損失を天秤にかければ下図のように損失が重くなっているのです。

いかかですか、タバコは必要でしょうか。

産業デザイン科 奥田恭久

たばこによる総損失額

計2兆500億円
[平成27年度]



●損失は受動喫煙を含めたタバコ関連疾患に対する国民医療費、関連した休業補償費、早期死亡による遺族年金、火災による損失、その他の経済的損失額の合計は、タバコの経済効果を数兆円規模ではるかに上回っていることが複数の試算で明らかになっています。

●タバコでは、わが国で年間2兆円超の税収があり、関連雇用を含めて合計3兆円程度の経済効果があると試算されています。

タバコによる損失は年間数兆円と試算されています

(医療経済研究機構の試算、国立がんセンター後藤公彦氏の試算、その他)